

2018年4月1日~2024年12月31日の間に当院回復期または
特定機能病院リハビリテーション病棟を退院された方及びご家族の方へ
「特定機能病院リハビリテーション病棟における脳卒中患者に対する
リハビリテーション医療に関する基礎的検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者(所属)	(職)	(氏名)
リハビリテーション医学	准教授	平岡 崇
研究分担者(所属)	(職)	(氏名)
リハビリテーション医学	教授	花山 耕三
リハビリテーション医学	准教授	目谷 浩通
リハビリテーション医学	講師	阿部 泰昌
リハビリテーション医学	講師	関 聡介
リハビリテーション医学	講師	新井 伸征
リハビリテーション医学	講師	山本 五弥子
リハビリテーション医学	臨床助教	酒巻 もえ
リハビリテーション医学	臨床助教	長谷川 智子
リハビリテーション医学	臨床助教	松山 和寛

1. 研究の概要

川崎医科大学附属病院においては、平日毎朝/休日指定日朝に脳卒中科・脳神経外科・リハビリテーション科による脳卒中合同カンファレンスを行っており、脳卒中患者に対して超急性期から回復期まで切れ目なく効果的な治療を行う体制が構築されています。また当院は日本で最初に回復期リハビリテーション病棟(回り八病棟)を開設した大学病院であり、すでに約20年の歴史を有しております。(令和4年の診療報酬改定で現在は特定機能病院リハビリテーション病棟に改名されています。) 当院に入院となった急性期脳卒中の患者さんの約20%が当院回り八病棟(特リ八病棟)へ転科転棟しています。このように当院は、急性期脳卒中診療と回復期リハビリテーション医療の効果的な連携が可能な体制が構築されている全国的に見てもめずらしい大学病院です。しかし、当院と同じように特定機能病院(厚生労働省による病院の役割による分類上の区分)のなかに回復期リハビリテーション病棟(現在は特定機能病院リハビリテーション病棟)を有する大学病院は3病院にとどまっています。そこで、特リ八病棟の特徴を検証するためのカルテ調査研究を計画しました。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2018年4月1日から2024年12月31日の間に当院回復期または特定機能病院リハビリテーション病棟を退院した患者さんを研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日

3) 研究方法

2018年4月1日から2024年12月31日の間に当院回復期または特定機能病院リハビリテーション病棟を退院した患者さんを対象に、研究者が年齢/疾患名/障害名(機能障害/能力障害(Section GG含む)/社会的不利)/重症度/入院期間/転帰/併存疾患/合併症/受診科/復職復学割合/再入院率/看護必要度/介護力(主たる介護者含む)/居住地(市町村まで)/担当医師・セラピスト・看護師の取得資格と経験年数のデータを選び、当院のリハビリテーション医療の特性に関する分析を行い、当大学病院に回復期リハビリテーション病棟に入院される患者さんの特徴を明らかにすることで今後の最適なりハビリテーション医療システムの構築の基礎的資料といたします。

4) 使用する情報の種類

使用する情報の種類情報として診療録から年齢/疾患名/障害名/重症度/入院期間/転帰/併存疾患/合併症等のデータを抽出し解析します。

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学リハビリテーション医学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院リハビリテーション科

氏名：平岡 崇

電話：086-462-1111 内線 25506 (平日：8時30分～17時00分)

ファックス：086-464-1186

E-mail：rehabili@med.kawasaki-m.ac.jp

3 . 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。